

第7回 マダガスカル口唇口蓋裂医療協力 ～ 参加した学生の感想 ～

医学部5年 北風和也

私の本プロジェクトへの参加の動機は二つあります。一つ目は学生の立場ではなかなか経験することができない国際医療協力を実際に参加することで、発展途上国の医療を肌で感じることです。二つ目は医学部5年になり、昭和大学の理念であるチーム医療を体現したいと考えたことです。



医療環境と衛生環境が充実整備されていないマダガスカルにおいて、二週間という限られた時間、限られた物資や人員で効率的かつ効果的に活動するにはどのように行動すべきか、本プロジェクトに参加することは医療協力について考える貴重な機会になりました。医学部5年というフレッシュな視点を持った状態で発展途上国の医療協力に携わり、医療の原点を感じた経験は、私の人生にとってかけがえのないものになりました。私が学んだことや感じたことを多くの医療従事者と共有し、両国の医療の発展に必要なものは何かを考え、私にできることを見出したいと思います。このような貴重な機会を与えてくださったすべての方々に感謝いたします。

歯学部5年 原隆蔵

9月9日から15日間マダガスカルのアツイラベにあるアヴェマリアクリニックで研修を行いました。日本からマダガスカルまでは約24時間のフライト。パリを経由して首都であるアンタナリボに降り立ちました。到着してすぐ目に入ってきた道路の脇にポイ捨てされているゴミの山と、あちこちで舞う砂埃が印象的でした。発展途上国へ行くのは初めてなので現地の生活には驚きの連続でした。

現地では外来や手術、ワクチン接種の手伝いや薬局、歯科医院見学、マトロン（お産婆さん）家訪問などのフィールドワーク、市場や動物園、大使館の訪問などを行いました。周りには歯が無い人や虫歯により歯

薬学部5年 樋口照真

自分は以前より国際交流に関心があり、将来も医療人として世界の舞台で活躍できる人間になりたいと思っていました。そんな自分にとってマダガスカルでの医療協力は多くの経験を積める大変魅力的な機会だと思います。志望しました。



保健医療学部 看護学科3年 溝口麻鈴

発展途上国であるマダガスカルでの医療や公衆衛生の現状を肌で感じ、現地の人々や文化に触れ自分の視野を広げたいと思い、今回の医療協力に参加しました。現地では手術室の設置の手伝いに始まり、外来や手術の見学に器械出しの体験および病院見学、そして子供への予防接種の補助を行いました。さらにフィールドワークでは、歯科医院やマトロン（お産婆さん）への訪問、現地の薬局見学、市場にも行きました。

初めに行った外来では裸足で遠方から何時間も歩いてきた方がいたり、市場では生肉にたくさんハエがたかっている衛生状態など、

特別寄稿



山本 晋也（映画監督）
マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団 映像担当

「二本のたばこ」
この度、昭和大学マダガスカル口唇口蓋裂という難病の外科手術医療支援として、数年前に、作家の曾野綾子さんに「カントク、神様の奴隷になる気ある？」こんな会話から医療支援に参加した。「神様の奴隷ならいいですよボクは...」で、四年ほど前から参加です。口唇口蓋裂の手術は別として、ボクは、マダガスカルの人々との交流をポイントにしました。通訳さんもほとんど居らず、パントマイム風で話したのですが、ボクはたばこのみのヒト。このたばこがすべてよしという偶然。「たばこ切らし街中で買いため時」吸うアクションをして、彼の国の若者に求めたところ、なんと買ってきたのが、たばこの一本。これには驚いた、日本の終戦直後のよう。バラ売りでしたが、一本もってきて「ハイ！」。この一本のたばこ以後交流の始まり。自分の日本製たばこを箱より一本差し出して、

ライターをつけると、ほとんどの男性はニコニコと友人。支援ですからホテルに泊まらず、アベ・マリア修道院に宿泊、外でロケ以外吸えませんが、こんな経験は、北朝鮮の平壤でマイクロボスの運転手さんが、ロケ待ちの時、ズラーツと座っている人々と会話（なんとたばこを出すと、ほとんどの方が日本語が話せるフシギ）、テレビで言えない信じられない庶民の本音が入ってくる。



このように、一本のたばこが、これほどのコミュニケーションの威力があるとは...。陽が昇ると人々が仕事、暮れると街は無人になるといふ自然中の自然の国。夜は星の国。一本のたばこがこれほどの存在だとは。

日本神経治療学会賞

小野賢二郎教授が受賞

第35回日本神経治療学会総会が11月16日から18日、ソニックシティおよびパレスホテル大宮で開催され、小野賢二郎教授（医学部内科学講座神経内科学部門）が2017年度日本神経治療学会賞（学術部門、1名）を受賞した。本賞は神経治療に関連する基礎研究や臨床研究の優れた業績に対して贈られる論文の内容、インパクトファクター（文献引用影響率）を元に選考される。小野教授はアルツハイマー病の病態で最も有力な仮説とされるアミロイド仮説、さらには近年のオリゴマー仮説に基づいた研究を様々な生物物理、生理学、生化学的



健康応援オーケストラ 株式会社 メディセオ

東京本社/〒104-8464 東京都中央区八重洲二丁目7番15号 TEL/03 (3517) 5050 (代)
URL/http://www.mediceo.co.jp